

FIAT 500e GUIDE BOOK



FIATの歴史と500eの世界観 P02~03

早わかりポイント P04~06

- 早わかり①基礎知識P04
- 早わかり②進化点P05
- 早わかり③スタイルアウトライン...P06

エクステリア P07~08

- フロントP07
- サイド/リアP08

インテリア P9~10

- コックピット.....P09
- シート/ラゲッジ/500らしい遊び心 P10

競合車インパネ比較 P11

サウンド機能 P12

エクステリア・インテリアカラー P13

ボディサイズ比較 P14~15

- FIATモデルサイズ比較.....P14
- 競合車サイズ比較.....P15

室内・ラゲッジサイズ比較 P16~17

- 室内サイズ比較.....P16
- ラゲッジサイズ比較P17

メカニズム P18~22

- 駆動系コンポーネント.....P18
- 走りの特性.....P19
- 競合車比較.....P20
- 運転モード.....P21
- サスペンションP22

インフォテイメント P23

テクノロジー 安全/運転支援機能 P24~25

- 安全/運転支援機能 ①.....P24
- 安全/運転支援機能 ②.....P25

競合車情報 P26~31

- NISSAN Leaf.....P26
- Peugeot e-208.....P27
- テスラ Model3P28
- MINI COOPER E.....P29
- TOYOTA bZ4X.....P30
- 競合車 安全装備比較表.....P31

5年間保有コスト P32

充 電 P33~39

- 充電P33~35
- 充電の手順.....P36~39

BEV車 よくある質問と回答 P40~43

巻末資料 P44~47

体感ポイント一覧、500eの安全機能/システム名称
故障でタイヤがロックした時の解除方法

いつの世でもファッションアイコンであり、人々を豊かにした500はサステナビリティの世界で再びその存在を発揮する



Fiat 500 (1957)



Fiat 500 (1968)



Fiat 500 (2007)

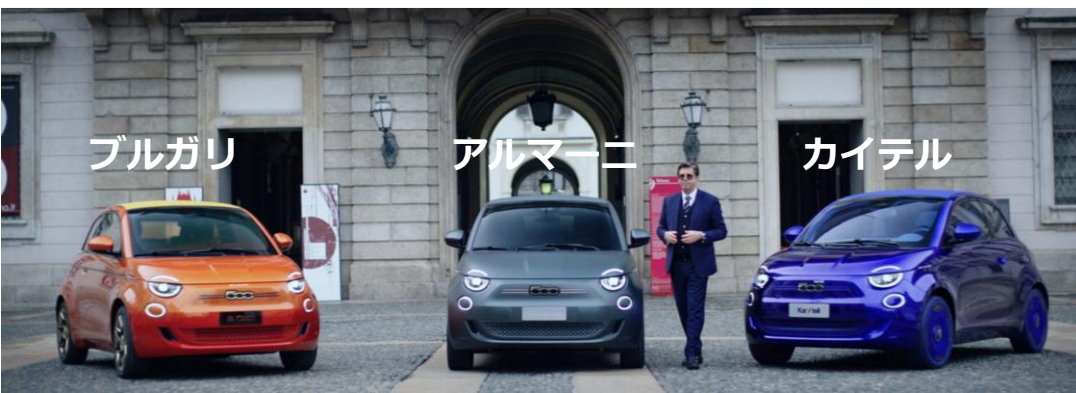


Fiat 500 (2012)



Fiat 500e (2020)

※トリノの街並み モーレ・アントネッリアーナ礼拝堂 167m (国立映画博物館)



■ワンポイント知識

最大出力	87kW 118ps
最大トルク	220Nm
航続可能距離	335km WLTCモード
電力消費率	128Wh/km WLTCモード
車両重量	1,330kg(ICON) 1,360kg(OPEN)
最小回転半径	5.1m

■ボディサイズ比較

車種	全長		全幅		全高	
500e- ICON/OPEN	3,630		1,685		1,530	
500-1.2 CULT	3,570	-60	1,625	-60	1,515	-15
TOYOTA ヤリス	3,940	+310	1,695	+10	1,500	-30

※ヤリスはコンパクトで人気の高いモデルなのでサイズ比較車として記載



特にデザイン部門で欧州29タイトルを受賞 2020-2022

■ボディタイプ/グレード

ガラスルーフ固定式



ICON ハッチバック

5,530,000円

- ・LED ヘッドライト
- ・17インチ アルミホイール
- ・“イントレチャータ” インストルメントパネル
- ・エコレザーシート

電動開閉式ソフトトップ
(ブラック)



OPEN カブリオレ

¥5,700,000円

- ・ ICONと同じ装備

■ 500から500eへ

3つのポイント

- 1 伝統のデザインDNAを継承したスタイリング
- 2 圧倒的に向上したドライビングコンフォート
- 3 先進の安全/運転支援機能を多数搭載

■ 装備の進化点

新しい装備

- ✓ 数々の安全/運転支援機能
- ✓ フロントグリルに初の500のロゴ
- ✓ ウェアラブルキーでキーレスエントリー
- ✓ キーオン/キーオフ サウンド
- ✓ AVAS（車両接近通報装置）サウンド
- ✓ ワイヤレスチャージングパッド充電
- ✓ ワイヤレスでCarPlay/Android Auto
- ✓ 前席にシートヒーター

拡充した装備

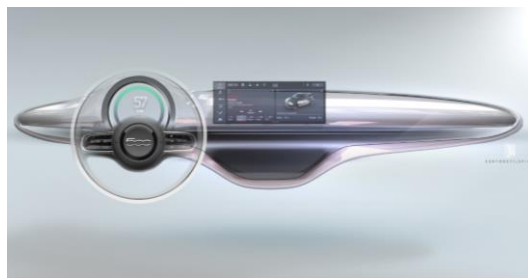
- ✓ 5色から選べるボディカラー
- ✓ LEDヘッドライト
- ✓ 17インチアルミホイール
- ✓ エコレザーのシート
※エコレザー：製造/販売/再利用等の過程において
環境や人に配慮して生産された革製品
- ✓ 10.25インチのタッチパネルモニター
- ✓ フルカラーマルチファンクションディスプレイ
- ✓ 全席にシートベルトリマインダー

造形デザインのこだわり



歴代500からのデザインアイコンを受け継ぎながらヘッドライトなどに最新の意匠を取り入れ、大型ホイールアーチを採用するなど、伝統と先進性を融合させた唯一無二のエクステリアデザイン

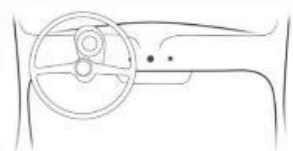
オーバルフォルムの造形は包み込まれるような心地よい室内空間を生み出している



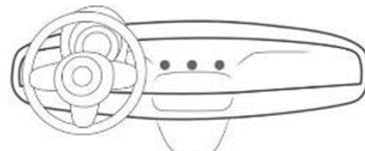
水平に広がる流線形のインパネに歴代500から受け継いだ丸く大きなステアリングを組み合わせたデザインは、伝統と先進性の融合を物語る

イメージデッサンに見るデザインのDNAと変遷

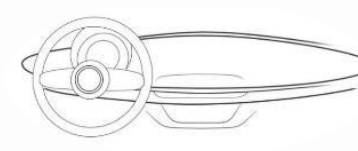
1957



2007



2020



歴代500のDNAが息づく洗練されたアイコンニックなデザイン

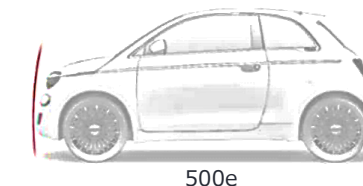
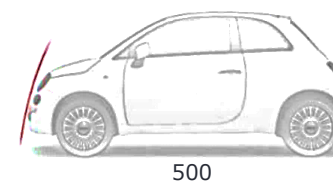
● フロントフェイス 微笑んでいるようなチャーミングな表情

- ・センターに500のロゴを初めて装着 ➡ 500の存在感を強調
- ・トレッドを50mm以上拡大 ➡ 踏ん張り感のあるフロントフェンダー
- ・500の“0”に見立てたヘッドライトをフロントフードで上下に分割 ➡ 500“e”を表現したデザイン



● NUOVA500 へのオマージュ

- ・エアインテークをつけていない
- ・フロントフードはやや盛り上がったシェル型
- ・横から見たフロントエンドの角度は路面に垂直



● LED ヘッドライト

- ・上半分がまぶたで下が瞳のようなユニークな意匠
- ・より明るいLEDに進化、オートハイビームを装備
- ・LEDデイトタイムランニングライトは昼間でも視認性を高め存在感をアピール



● 車両感覚のつかみやすいボディ形状

Aピラーの立ち上がり角度が付いたこととフロントが垂直形状になったことで、前方や斜め前の感覚が掴みやすい

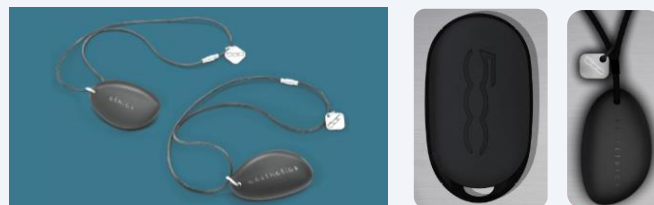
● 17インチアルミホイール

精緻なダイヤモンドカットが施された美しいホイールデザイン





ボディに合わせて丸みを強調した
リアスポイラー



ウェアラブルキー 近づくだけでドアの開錠施錠ができる



後続車からの視認性を高めるLEDテールライト



ロゴマークがここにも！



LEDサイド
インジケーターは
NUOVA 500の
流線形デザインを
オマージュ



ライトブルーのアウトラインと
0をeに変えて先進的な
イメージを強調したロゴマーク

見やすい大画面+直感的に操作できるシンプルなスイッチ類=運転を楽しめる空間



レザー調ステアリングホイール（オーディオ / ハンズフリーコントローラー付）

- ・ NUOVA 500をオマージュした2本スポークのレザー調ステアリングホイール
- ・ 運転中でもオーディオの操作や電話を受けられる便利なコントローラーを装備

7インチフルカラーTFTマルチファンクションディスプレイ

- ・ 速度/バッテリー残量などドライブに必要なかつ多彩な情報をわかりやすく表示

10.25インチタッチパネルモニター

- ・ 使い慣れたスマートフォンのアプリをそのまま利用できるUconnect®

ワイヤレスチャージングパッド（スマートフォントレイ）

- ・ ワイヤレス充電対応のスマートフォンを置くだけで充電できる
- ・ 残量を気にせずUconnect®を使用して快適なドライブを楽しめる



イントレチャータ インstrumentパネル

イタリア語の「編む」が語源で細く裂いた皮革を編みこんで作る精緻なハンドクラフトをイメージ
※ボッテガ ヴェネタ社が得意とする技法



フルオートエアコン（ダストポレンフィルター付）

ハードキーだけではなく、モニターからも調整可能

エレクトリックパーキングブレーキ

ボタン操作/自動でも作動

※シートベルト装着時、走行レンジ / アクセルオンで自動解除



USBポート



センターコンソール内



センタートンネル小物入れ内

■ シート



FIATモノグラムエコレザーシート

- ・サステナブルの実現につながるエコレザーを採用
- ・広い座面と適度なホールド感で快適な座り心地
- ・モノグラムは滑り止めのような効果も発揮している



シートヒーター

- ・前席に装備 (ON/OFFのみ)

■ 500らしい遊び心



スマートフォントレイに
描かれたトリノの街並み



※トリノの象徴
モーレ・アントネッリアーナ礼拝堂
167m (国立映画博物館)



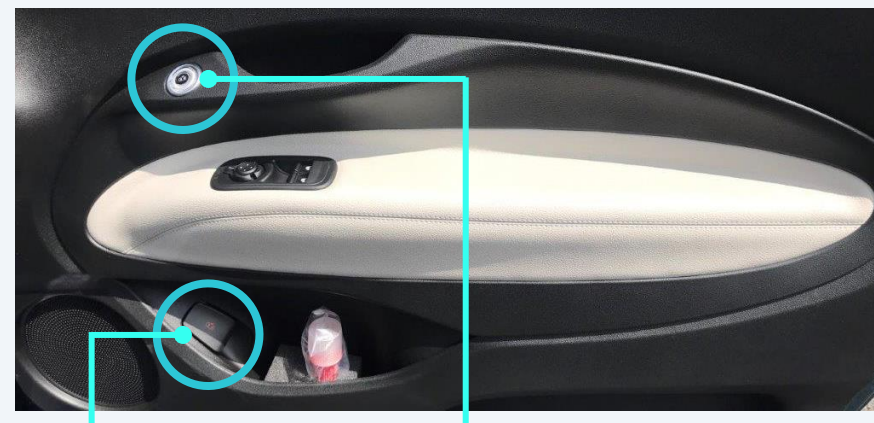
ドアハンドル底面に
MADE IN TORINOと
Nuova 500を刻印

■ ラゲッジ

開口部が広いので、荷物の出し入れがしやすい



■ ドアオープンボタン(運転席・助手席側 各2個)





NISSAN Leaf

静かで伸びやかな空間

Peugeot e-208

最新世代の3D i-Cockpit



FIAT 500e

歴代『500』の個性を随所に取り入れた
上質かつ先進的な車室空間



TESLA Model3

ドライバー中心の造形

MINI COOPER E

円形有機ELセンター・
ディスプレイ



国際的サウンドデザイナーによるAVAS、キーオン/オフサウンド

AVAS（車両接近通報装置）

イタリア人作曲家ニーノ・ロータによるメロディーを
乗せたイタリアらしさを感じさせるオリジナルサウンド

キーオン/キーオフサウンド

キーをオン/オフにする際もオリジナルのサウンドを提供



ニーノ・ロータ

- ・イタリア ミラノ出身の作曲家
- ・クラシックから映画音楽まで多彩に活躍
- ・イタリアの名作映画の数々を手掛け、

「ゴッドファーザー」でアカデミー作曲賞を受賞





アイスホワイト



オーシャングリーン



ミネラルグレー



ローズゴールド



セレスティアルブルー

		ハッチバック	カブリオレ
		ICON	OPEN
シートカラー	インテリア	ベージュ	ベージュ
	ソフトトップ	—	ブラック
エクステリアカラー		845	208
アイスホワイト	268	●	●
オーシャングリーン	230	○	○
ミネラルグレー	205	○	○
ローズゴールド	237	○	○
セレスティアルブルー	278	○	○

●:標準 ○:オプション —:設定無し

500e ICON



全幅 1,685mm



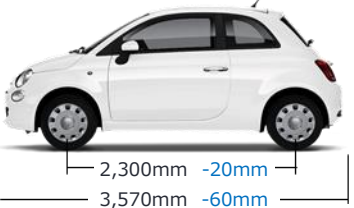
ホイールベース 2,320mm

全長 3,630mm

500 1.2 CULT



1,625mm -60mm



2,300mm -20mm

3,570mm -60mm

500X



1,795mm +110mm



2,570mm +250mm

4,280mm +650mm

PANDA EASY



1,645mm -40mm



2,300mm -20mm

3,655mm +25mm

車種	全長		全幅		全高		ホイールベース		ホイールベース比	車重		最小回転半径	
500e ICON	3,630		1,685		1,530		2,320		63.9%	1,330		5.1	
500 1.2 CULT	3,570	-60	1,625	-60	1,515	-15	2,300	-20	64.4%	990	-340	4.7	-0.4
500X	4,280	+650	1,795	+110	1,610	+80	2,570	+250	60.0%	1,410	+80	5.5	+0.4
PANDA EASY	3,655	+25	1,645	-40	1,550	+20	2,300	-20	62.9%	1,070	-260	-	-

500e ICON



MINI COOPER E



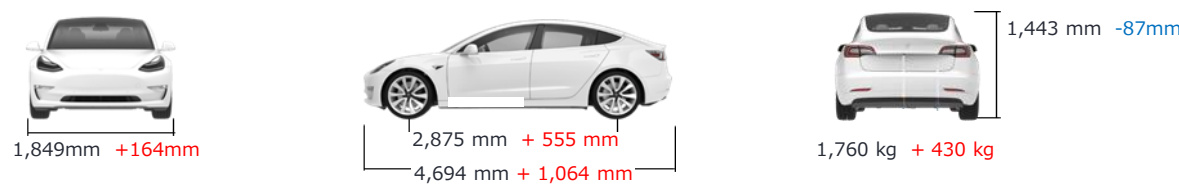
NISSAN Leaf e+ G



Peugeot e-208 GT



TESLA Model3 RWD



車種	全長		全幅		全高		ホイールベース		ホイールベース比	車重		最小回転半径数	
500e ICON	3,630		1,685		1,530		2,320		63.9%	1,330		5.1	
MINI COOPER E	3,860	+230	1,755	+70	1,460	-70	2,525	+205	65.4%	未公開		未公開	
NISSAN Leaf e+ G	4,480	+850	1,790	+105	1,565	+35	2,700	+380	60.3%	1,680	+350	5.4	+0.3
Peugeot e-208	4,095	+465	1,745	+60	1,465	-65	2,540	+220	62.0%	1,500	+170	5.4	+0.3
テスラ Model 3	4,694	+1064	1,849	+164	1,443	-87	2,875	+555	61.2%	1,760	+430	未公開	



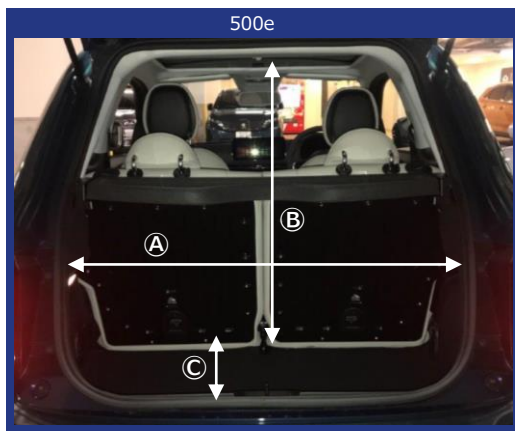
フロントシート									
車種	①シート最大幅		②シート長		③ヘッドルーム(内張まで)		④シート高		⑤レッグルーム
FIAT 500e	520		510		970		300		1,060
FIAT 500	520	±0	510	±0	970	±0	340	+40	1,060 ±0
NISSAN Leaf	490	-30	530	+20	1,100	+130	290	-10	1,030 -30
Peugeot e-208	500	-20	510	±0	950	-20	300	±0	1,000 -60
TESLA Model 3	500	-20	520	+10	1,230	+260	210	-90	1,000 -60

セカンドシート									
車種	①シート最大幅		②シート長		③ヘッドルーム(内張まで)		④シート高		⑤室内高（最大部）
FIAT 500e	1,190		430		850		300		1,150
FIAT 500	1,220	+30	430	±0	860	+10	330	+30	1,190 +40
NISSAN Leaf	1,210	+20	460	+30	880	+30	360	+60	1,200 +50
Peugeot e-208	1,200	+10	440	+10	850	±0	360	+60	1,140 -10
TESLA Model 3	1,270	+80	500	+70	900	+50	290	-10	1,160 +10

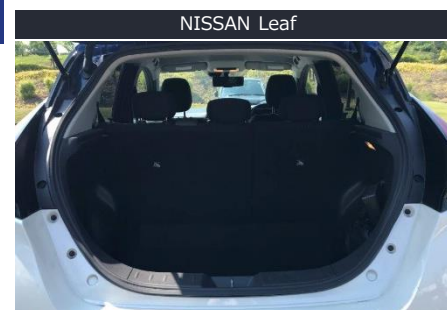
※500のリアシートと比較して、サイズ的にはほぼ同様であるが、室内形状の違いにより 500eのリアシートに座った時に狭く感じることもある。



※MINI COOPER Eは車両の準備が出来次第、情報を更新予定



車種	ラゲッジ					
	①開口最大幅		②高さ		③奥行き	
FIAT 500e POP/ICON	890		880		550	
FIAT 500	890	±0	880	±0	550	±0
NISSAN Leaf	1,060	+170	910	+30	800	+250
Peugeot e-208	910	+20	750	-130	670	+120
TESLA Model 3	1,160	+270	530	-350	1,070	+520



※MINI COOPER Eは車両の準備が出来次第、情報を更新予定

◆500e ゴルフバック車載 写真

●ICON



●OPEN



- ※車載内容
- ・CHAdemoアダプター × 1
 - ・ゴルフバック 9.5型 × 2
 - ・ボストンバック × 2
 - ・シューズケース × 2

※オープンエアを開閉して上部から撮影しています

街中から高速ドライブまで、快適な走りを可能にするパワフルなモーターを搭載

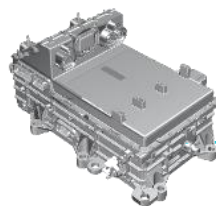
42kwhリチウムイオンバッテリーパックを床下に配置し、
低重心と優れた重量バランスを実現

最大出力	87kW 118ps
最大トルク	220Nm
航続可能距離	335km WLTCモード
電力消費率	128Wh/km WLTCモード

駆動系コンポーネント

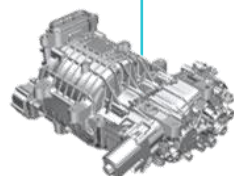
PEB パワーエレクトロニクスベイ

- ・インバーター ※1
- ・充電器11kW三相/単相
- ・DC/AC コンバーター 400V/12V ※2
- ・電気自動車コントロールユニット



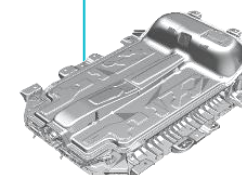
EDM 電気ドライブモジュール

- ・電気モーター – 87 kW
- ・永久磁石
- ・ギアボックス比 9.6:1 ※3



スマートチャージングポート

- ・200V 普通充電
- ・CHAdeMO 急速充電対応

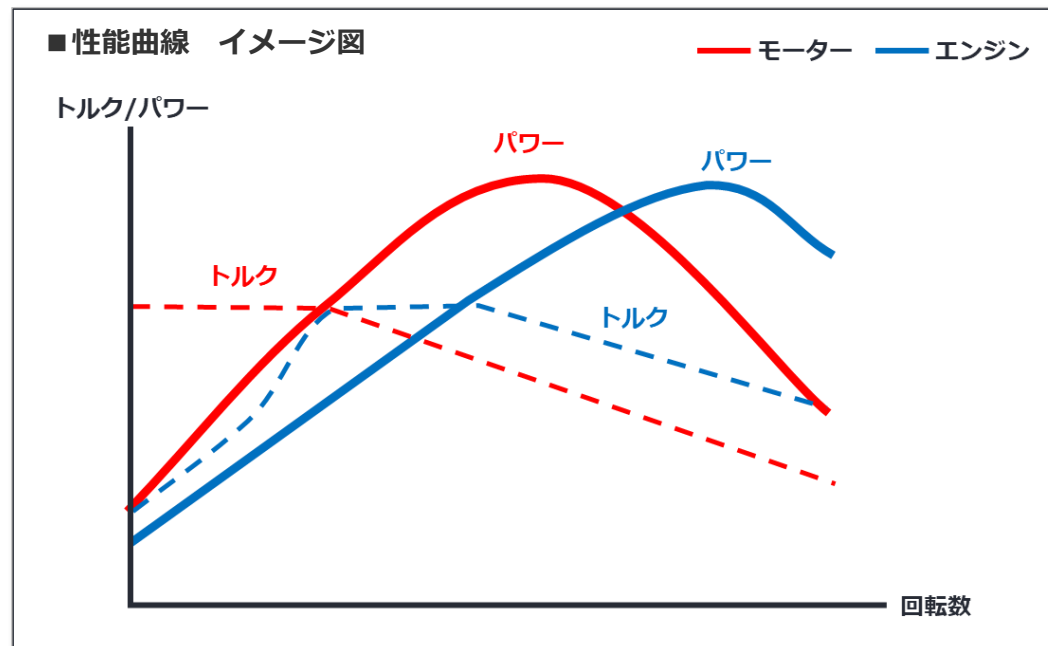


高圧バッテリーパック

42.0 kWh, 60Ah cells,

- ※1 直流（DC）を交流（AC）に変換し、モーターを制御しやすくする
 ※2 蓄積された400Vの高電圧を12Vまで下げる変換機
 ※3 超高回転型のモーターを駆動に使える回転数まで落とす最終減速比

モーターとガソリンエンジン 特性比較



■モーター

アクセルを踏んだ瞬間（スイッチオン）から大きなトルクを発揮、回転数が上がればパワーがそのまま持続する。

■BEV車ポイント

- ・ アクセルを軽く踏むだけで力強く走り出し運転がとてもしやすい。
- ・ 低回転域から高回転域までスムーズで滑らかな加速感が持続。
(まるでディーゼル車とガソリン車の良いところ取り/パワー感はガソリン車の2.4ℓ以上)
- ・ 高回転域でも高い静粛性と少ない振動。



■ガソリンエンジン

アクセルを踏み込んでも回転数が低い内は大きなトルクが出ず、回転数が上がるにつれて大きくなる。

	最大出力	最大トルク	バッテリー容量 (総電力量)	航続距離	電費	車両重量	充電方法
500e ICON	118ps	220Nm	42kWh	335km	128Wh/km	1,330kg	・200V普通充電 ・急速充電対応
MINI COOPER E	184ps	290Nm	40.7kwh	305km	未公表	未公表	・200V普通充電 ・急速充電対応
Leaf e+G	218ps	340Nm	60kWh	458km	161Wh/km	1,680kg	・200V普通充電 ・急速充電対応
e-208 GT	136ps	260Nm	50kWh	395km	144Wh/km	1,500kg	・200V普通充電 ・急速充電対応
Model 3 RWD	283ps	375Nm	54kWh	565km	未公表	1,760kg	・200V普通充電 ・急速充電対応



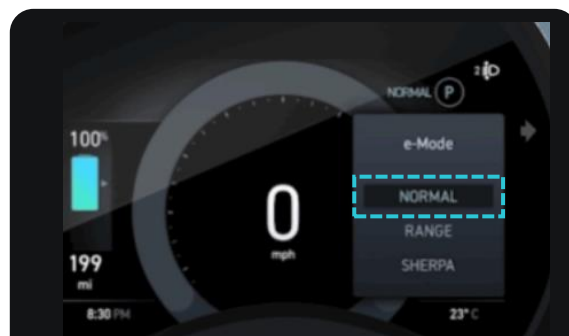
500eはコンパクトで運転しやすいという魅力と、必要十分な航続距離のバランスを考えて開発されている

- ・航続距離335km※ は平均的なカーライフ（毎日クルマを使う×近距離中心）に十分な数値＜日本の乗用車の1日平均走行距離は約32km＞
- ・モーター/バッテリーを大型化すれば航続距離は稼げるが、ボディサイズと車重に大きく影響し、500eのコンパクトでキビキビした走りの魅力が損なわれる。

※実際の航続距離： 250～260kmぐらいの表示（直前にエアコンを使用していない場合）。 メーカーとして保証する数値ではありません。

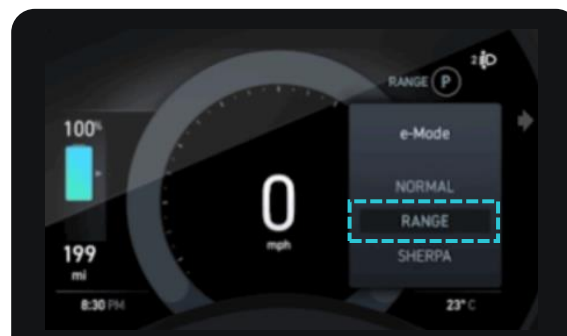
走行シーンに合わせて、3種類の運転モードの選択が可能

①NORMAL (ノーマル) / ②RANGE (レンジ) / ③SHERPA (シェルパ)



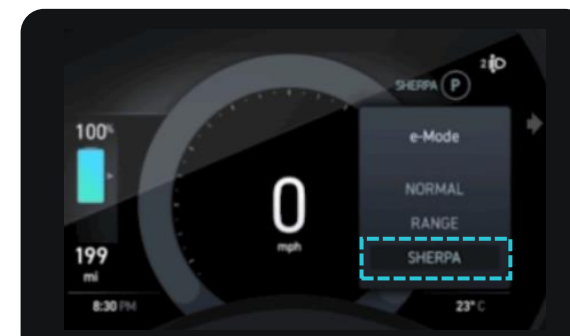
NORMALモード

通常の内燃機関のような走行を想定したモード。
ペダル応答性が高く、エンジン車の様な運転が可能。



RANGEモード

回生ブレーキの利きが強化され、アクセルペダルだけで減速から停止まで制御できる、ワンペダルドライブが可能。疲労度を軽減する走りを実現。



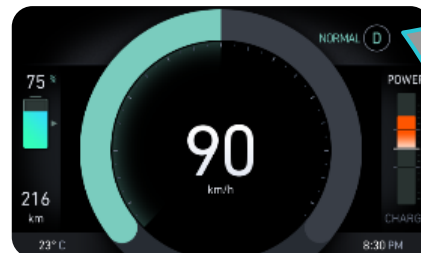
SHERPAモード

長距離走行を実現するモード。
時速80km以下で走行するとともに消費電力を抑制するために、アクセルレスポンスの調整やエアコンやシートヒーターなどは自動的にオフ。
手動でエアコンなどは再起動できる。

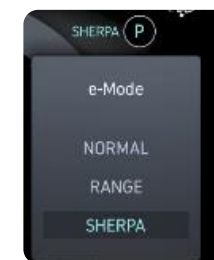
※シェルパ：
高い身体能力と高所順応性を生かしてヒマラヤ遠征隊をサポートする現地のガイドやポーター



e-モードセレクト



インストルメントクラスターの表示



運転モード選択

気持ちのよいハンドリングと快適な乗り心地を両立

マクファーソン + トーションビーム = コンパクトカーの王道の組み合わせ

※500と同じ組み合わせを採用

- ① シンプルな構造で高性能
- ② 小型軽量で、室内空間や荷室を広くとれる
- ③ 実績の積み重ねにより信頼性が高い

フロント：
マクファーソンストラット
(スタビライザー付き)



リア：
トーションビーム



■サスペンション比較

	500e Icon	Leaf e+G	e-208 GT	Model 3 RWD	Honda e Advance
フロント	マクファーソン	マクファーソン	マクファーソン	ダブルウィッシュボーン	マクファーソン
リア	トーションビーム	トーションビーム	トーションビーム	マルチリンク	マクファーソン

10.25インチタッチパネルモニター

日頃から使い慣れたスマートフォンのアプリをそのまま利用できる
高速かつ直感的で使いやすい10.25インチタッチパネルモニターを装備した
総合インフォテインメントシステムUconnect®を装備

スマートフォンとワイヤレスでつながる超高速Bluetooth®を採用。

「Hey Fiat」と言うだけで対話ができる音声認識機能も装備。

安全で直感的、そしてシームレスな体験を車内でも存分に楽しむことができる。

APPLE CARPLAY & ANDROID AUTO™

日頃から使い慣れたスマートフォンのアプリを、
ドライブ中でもスマートかつ安全に 使用するシステムを搭載。
運転に集中したまま、電話をかけたり、メッセージを送受信したり、
音楽やオーディオブック、ポッドキャストを聴くことができる。



ナビゲーションシステム

10.25インチタッチパネルモニターを利用したナビゲーションシステムは、
最新の交通情報、自動速度取締機、駐車場、EVステーション、目的地の天気など、多彩な情報をドライバーに表示。



7インチフルカラー TFTマルチファンクションディスプレイ

視認性に優れた7インチTFTを採用したマルチファンクションディスプレイを装備。
1957年に誕生した『NUOVA 500』のメーターを彷彿とさせるデザインが印象的。
速度、安全システム、充電状態、運転モードなど、ドライブに必要な情報や警告メッセージを、
タイムリーかつスピーディーに表示。ナビのMAP画面を表示することも可能。

『500e』は、加減速のコントロール、安全な車間距離の確保、制限速度の通知など、ドライブをサポートする機能が贅沢に装備されている



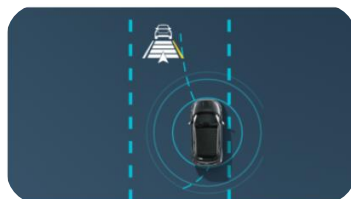
アダプティブクルーズコントロール

フロントバンパーのレーダーセンサーを使用し、前方の車両の加減速に応じて自動的にスピードを調整。車間距離を維持。
(時速30km以上で使用可能)



衝突被害軽減ブレーキ [歩行者検知機能付]

前方の車両や歩行者と衝突のおそれがあるときに、警報と自動ブレーキによりドライバーの衝突回避操作を支援。



レーンキーピングアシスト

意図せず（指示器を使わず）車線変更をすると警告する。
走行レーンの逸脱をインストルメントパネルの視覚的な警告に加え、電動パワーステアリングにトルクを発生させ、ステアリング制御を行い車線維持をアシスト。（時速60km以上で使用可能）



トラフィックジャムアシスト

高速道路での低速走行の時、前のクルマとの車速の変化に合わせて車間距離を保つとともに、車線の中央付近の走行を維持するようにステアリング操作を支援。
ドライバーの運転負荷の軽減をサポート。



ブラインドスポットモニター

ドライバーの死角にいる車両をドアミラーに内蔵された警告灯と警告音で知らせる。



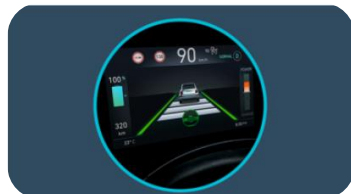
ドライバーアテンションアラート

フロントウィンドー中央のカメラがドライバーの疲労を検知。
警告音と7インチTFTマルチファンクションディスプレイに表示。



トラフィックサインレコグニション

道路上に設置されている交通標識を認識して、
7インチTFTマルチファンクションディスプレイに表示。
追い越し禁止や制限速度などの情報を伝え、ドライバーへ注意を促す。



インテリジェントスピードコントロール

アダプティブクルーズコントロールおよびトラフィックサインレコグニションと連動。
走行中の道路の制限速度に基づいて、スピードの自動調整を行う。



360°パーキングセンサー

フロントバンパーとリアバンパーのセンサーによって、障害物を検知。
警告音と7インチTFTマルチファンクションディスプレイの警告表示で、ドライバーに警告する。



リアパーキングカメラ

駐車時に後方の様子を映すリアパーキングカメラを装備。10.25インチタッチパネルモニターに映し出される映像とガイドによって、スムーズな駐車をアシストする。

1. 基本情報

- ✓ 2017年9月、2代目として発売開始、2019年1月に62kWhのe+を追加、2021年4月にマイナーチェンジ、2022年6月に外観の小変更
- ✓ 国産車のEVの先駆者的存在で、販売実績が豊富、日産で4位の販売台数
 - 【60kWhバッテリー】 航続450km 最高出力 160kW(218ps)/4,600-5,800rpm 最大トルク 340Nm/500-4,000rpm
 - 【40kWhバッテリー】 航続322km 最高出力 110kW(150ps)/3,283-9,795rpm 最大トルク 320Nm/0-3,283rpm
- ✓ 全長4,480mm×全幅1,790mm×全高1,565mm 車重1,520~1,680kg 最小回転半径5.2m/40kWh、5.4m/60kWh 定員5人

2. ポイント

2種類のバッテリーをラインアップ

40kWh 4,081,000~4,642,000円

60kWh 5,253,600~5,834,400円

近距離圏内での使用用途と価格の為、40kWhの方が売れている

e-pedal (On/Off可能)

アクセル操作だけで発進加速、減速、停止まで出来る通称ワンペダルを国産車初採用（使用時はクリープ作動せず）

安全機能の積極採用

車間距離とステアリング制御を行う「プロパイロット」と国産車初の全自動駐車システム「プロパイロット パーキング」（ボタン操作保持）を搭載



アプリによる充電状況の確認や
充電スポット検索が可能



スポーティなグレード、NISMOを設定
専用ドライブモードやステアリングギヤ比変更、
足回りのチューニング

	最大出力	最大トルク	バッテリー容量 (総電力量)	充電方法	航続距離	電費	車両重量	価格 (円)
500e ICON	118ps	220Nm	42kWh	・200V普通充電 ・急速充電	335km	128Wh/km	1,330kg	5,530,000
Leaf e+G	218ps	340Nm	60kWh	・200V普通充電 ・急速充電	450km	161Wh/km	1,680kg	5,834,400

1. 基本情報

- ✓ Peugeot初のBEV、ガソリンの208に追加モデルとしてEVをラインアップ
- ✓ 「パワー・オブ・チョイス」と言われる同じフォルムとスペース効率でEVかガソリンかを選ぶのが特徴
- ✓ 【50kWhバッテリー】 航続395km 最高出力 100kW(136ps)/5,500rpm 最大トルク 260Nm/300-3,674rpm
- ✓ 全長4,095mm×全幅1,745mm×全高1,445-1,495mm 車重1,490~1,500kg 最小回転半径5.4m 定員5人

2. ポイント

コンセプト違いの2グレード

動力性能は同じだが、ベースのAllure、4,694,000円とスポーティな外観のGT、5,124,000円の2グレード構成、ガソリンの208もラインアップする（eシリーズはガソリンの約150万円アップ）

3D i-Cockpit

上下がフラットな非円形ステアリングで、ステアリングの上からメーターを見るようなデザイン
人間に合わせたスイッチや操作系の配置を謳う
メーターは先進的な3D表示などカスタマイズが可能
インテリアの質感もステッチの色使いなど、クラス内では質感が高い

回生ブレーキに特徴？

ブレーキのタッチやコントロール性において回生とブレーキパッドに切り替わる効き方が強め

スポーティなEV

しなやかなPeugeotにおいて、高速域の乗り心地や足回りはスポーティでやや硬め



	最大出力	最大トルク	バッテリー容量 (総電力量)	充電方法	航続距離	電費	車両重量	価格（円）
500e ICON	118ps	220Nm	42kWh	・200V普通充電 ・急速充電	335km	128Wh/km	1,330kg	5,530,000
e-208 GT	136ps	260Nm	50kWh	・200V普通充電 ・急速充電	395km	144Wh/km	1,500kg	5,124,000

1. 基本情報

- ✓ 2019年5月日本受注開始
- ✓ 米国EVメーカーの最後発車種、1000万円オーバーの他ラインアップに比べ、一般的な輸入車クラスの価格帯にした戦略モデル
- ✓ 【57.5kWh（推定値）バッテリー】 航続565km 最高出力 211kW(283ps)/未公表rpm 最大トルク 375Nm/未公表rpm
- ✓ 全長4,694mm×全幅1,849mm×全高1,443mm 車重1,760kg 最小回転半径 外輪11.3m（計算値5.7m） 定員5人

2. ポイント

モーターの数、出力違いで2グレード構成

ベースの1モーターRWD 5,613,000円、2モーターのロングレンジAWD 6,519,000円

テスラオリジナルパーツで生産

先行販売されたモデルSは他の自動車メーカーのパーツ流用（ウインカーレバーやスイッチ）しながら作られていたのに対し、モデル3はオリジナルのパーツで作られた

全自動運転（本国仕様）

車両周囲に埋め込まれているカメラやレーダーにより、本国などでオートパイロットと呼ばれる全自動運転対応で話題となったが、完全手放しでの死亡事故も発生しており、今後の課題となっている

IT感満載のインテリア/ワイヤレスアップデート

インパネには大型のタブレットが設置されているようなシンプルなインテリア
車両のプログラムも本社からのアップデートが自動で行われ、
オーナーは知らぬ間に機能が追加されたり、出力向上されるという制御が行われる



テスラ専用充電器「スーパーチャージャー」アダプターでCHAdeMOも使用可

	最大出力	最大トルク	バッテリー容量 (総電力量)	充電方法	航続距離	電費	車両重量	価格（円）
500e ICON	118ps	220Nm	42kWh	・200V普通充電 ・急速充電	335km	128Wh/km	1,330kg	5,530,000
Model 3 RWD	283ps	375Nm	57.5kWh (推定値)	・200V普通充電 ・急速充電 ・スーパーチャージャー250kW	565km	未公表	1,760kg	5,613,000

1. 基本情報

- ✓ 2024年3月に4代目として10年ぶりに発売開始。MINI初となる電気自動車をラインアップ。
- ✓ 納車は、2024年第二四半期以降を予定
- ✓ 走りを発揮する電気モーターを前輪に持つ電気自動車であり、0-100km/hを僅か7.3秒で駆けぬける。
航続305km 最高出力 135kW(184ps) 最大トルク 290Nm
- ✓ 全長3,860mm×全幅1,755mm×全高1,460mm

2. ポイント

車両に蓄えられている電力を外部に給電することが可能な外部給電機能を装備

クリーンでサーフェスが特徴的なエクステリア

ボンネット・スクープ、サイド・スカトル、ホイール・アーチの加飾、ロッド・アンテナ等を廃止し、フラッシュ・ドア・ハンドルおよびフィン・アンテナを採用

最先端の有機ELテクノロジーが採用された大型の円形センター・ディスプレイ

ステアリング・ホイールの背後に配置されていたメーターパネルは廃止され、運転に必要な全ての情報は、ヘッドアップ・ディスプレイに映し出すことが可能。直径240mmの高品質ガラスを使用することで、個性的でミニマルなデザイン

ドライビング・ダイナミクス

バッテリーを配置したことで重心が低くなり、ドライビング・ダイナミクスが向上。重量配分を最適化し、ダイレクトなステアリング・レシオと小さなステアリング・ホイールの組み合わせにより、MINIのスリリングなレスポンスを実現



	最大出力	最大トルク	バッテリー容量 (総電力量)	充電方法	航続距離	電費	車両重量	価格 (円)
500e ICON	118ps	220Nm	42kWh	・200V普通充電 ・急速充電	335km	128Wh/km	1,330kg	5,530,000
MINI COOPER E	184ps	290Nm	40.7kwh	・200V普通充電 ・急速充電	305km	—	—	4,630,000

1. 基本情報

- ✓ 2022年5月発売開始、TOYOTAのEV車 bZシリーズ第一弾。SUBARUと共同開発（SOLTERRA）
- ✓ TOYOTAブランド初のEV、FWDと4WDの2ラインアップ
- ✓ 世界初のステアリングバイワイヤ採用
- ✓ 大容量バッテリーで長距離対応も可能なSUVタイプ
 - 【FWD】 航続559km 最高出力 150kW(203.9ps) 最大トルク 266Nm
 - 【4WD】 航続540km 最高出力 160kW(218ps) 最大トルク 338Nm
- ✓ 全長4,690mm×全幅1,860mm×全高1,650mm 車重2,195(4WD 2,285)kg 最小回転半径5.6m 定員5人

2. ポイント

バッテリー容量は1種類でFWDと4WDをラインアップ

FWDは6,000,000円、4WDは6,500,000円（全車リース販売のため参考価格）
 バッテリーが同じ容量の為、出力が低く、車重が軽いFWDモデルの方が航続距離に優れる

リース専用車

KINTOを利用し車検、点検、保険代、タイヤなどの消耗品も込みのリース契約となる。
 4年間は定額だが5年目から10年目にかけて月額料金が下がっていく。バッテリーも保証対象。

先進機能搭載

ステアリングとタイロッドが電気信号のみでつながれるステアリングバイワイヤを世界初採用。
 TOYOTAの安全機能、ナビはコネクティッド対応で先進機能が満載。



	最大出力	最大トルク	バッテリー容量 (総電力量)	充電方法	航続距離	電費	車両重量	価格（円）
500e ICON	118ps	220Nm	42kWh	・200V普通充電 ・急速充電	335km	128Wh/km	1,330kg	5,530,000
bZ4X FWD	203.9ps	266Nm	71.4kWh	・200V普通充電 ・急速充電	559km	128Wh/km	2,195kg	6,000,000
bZ4X 4WD	218ps	338Nm			540km	134Wh/km	2,285kg	6,500,000

外観					
メーカー	FIAT	MINI	NISSAN	Peugeot	Tesla
車名/グレード	500e ICON	COOPER E	リーフ e+G	e-208 GT右ハンドル	モデル3RWD
横滑り防止装置	●	●	●	●	—
レディ・アラート・ブレーキ	●	—	●	●	—
フォワードコリジョン ワーニング (FCW)	●	●	●	●	●
歩行者検知機能	●	●	●	●	●
レーンデパーチャー ワーニング (LDW)	●	●	●	●	—
レーンキープ・アシスト	●	—	●	●	●
ブラインドスポットモニター (BSM)	●	—	●	●	●
その他衝突被害軽減システム詳細	● フォワードコリジョンワーニング [前面衝突警報]	—	● RCTA(後退時車両検知警報) ● インテリジェント BSI (後側方衝突防止支援システム)/ BSW(後側方車両検知警報)	● アクティブセーフティブレーキ (被害軽減ブレーキ)/ ディスタンスアラート	● ドライバーアシスタント機能 (アドバンスドセーフティ&コンビニエンス、 緊急ブレーキ衝突警告、 ブラインドスポットモニター)
フロント誤発進抑制機能	—	—	●	—	—
リア誤発進抑制機能	—	—	●	—	—
道路権威認識機能	●	—	●	●	—
エマージェンシーストップシグナル	●	●	—	—	—
ヒルスタートアシスト	●	—	●	●	—
エレクトロニックパーキングブレーキ	●	—	●	●	—
バックカメラ	●	●	●	●	●
フロントカメラ	—	—	●	—	●
サイドカメラ	—	—	●	—	●
アラウンドビューカメラ	—	—	●	—	●
パークアシスト (フロント/リア)	●/●	●/●	●/●	●/●	●/●
パークアシスト詳細	—	● パーキング・アシスト(PDC フロント&リア含む)	● プロパイロット パーキング	—	—

■ FIAT 500e 現金プランでの比較

※MINI COOPER Eとの比較については スペックが公表され次第作成予定

		FIAT 500e	NISSAN Leaf	Peugeot e-208	テスラ Model3
		ICON	e+ G	GT	RWD
メーカー希望小売価格(消費税込)		¥5,530,000	¥5,834,400	¥5,124,000	¥5,613,000
税金比較	環境性能割、重量税(エコカー減税)	非課税または免税	非課税または免税	非課税または免税	非課税または免税
	自動車税(グリーン化税制) ※1	¥104,400	¥104,400	¥104,400	¥104,400
電気代比較 ※2	9,000キロ/年・5年	¥202,879	¥215,760	¥204,835	¥152,501
CEV補助金 ※3		¥-450,000	¥-850,000	¥-450,000	¥-650,000
5年間保有コスト		¥5,387,279	¥5,304,560	¥4,983,235	¥5,219,901
500eとの差額			-82,719	-404,044	-167,378

※1 グリーン化特例軽減対象となる自動車に対して登録翌年度分について75%減税

※2024年4月現在

※2 年間電気代 = 年間走行距離9,000km ÷ (一充電走行距離÷モーターの総電力量) × 1kWhあたりの電気料 (東京電力 スマートライフS 契約時1kWhあたり35.96円)

FIAT500eの計算例 : 年間走行距離9,000km ÷ (一充電走行距離335km÷モーターの総電力量42kWh) × 1kWhあたりの電気料35.96円 = 年間電気代40,576円 × 5年間

※3 CEV補助金以外の補助金については、地域によって違う為 反映はしていない

注意：補助金等に関しては、販売店様で各地域の content と金額をご確認頂きまして、
補助金の適用内容、全国一律の補助金+地域の補助金をお客様にご説明お願い申し上げます。

家庭で普通充電

- 200V 交流電源 -



コンセント型



ウォールボックス型

- ・3kW コンセント型
→ FULL CHARGE 約14時間
- ・6kW ウォールボックス型
→ FULL CHARGE 約7時間

急速充電 CHAdeMO

- 400V 直流電源 -

標準装備のアダプターでCHAdeMOと接続く上限30分で約60%程度まで充電可能 ※大容量タイプ(50Kw)の場合>

●参考：充電認証カード e-Mobility Power カード

プラン名	急速・普通併用 プラン	普通充電プラン	ビジター料金				
月額料金	4,180円 (税抜価格3,800円)	1,540円 (税抜価格1,400円)	—				
都度利用料金 (税込)	+	+	eMP設置の 急速充電器	ご利用時間1～5分まで		以降1分あたり	
	急速 27.5 円/分 (税抜価格25.0円)	—		最大出力 90kW以上	385 円 (税抜価格350円)	最大出力 90kW以上	77 円/分 (税抜価格70円)
				最大出力 50kW以下	275 円 (税抜価格250円)	最大出力 50kW以下	55 円/分 (税抜価格50円)
				提携充電器のビジター料金は、充電器ごとに異なります。 詳細は充電器に掲示されているご案内をご確認ください。			
			加盟充電器	ご利用時間1～15分まで		以降1分あたり	
	普通 3.85 円/分 (税抜価格3.5円)	普通 3.85 円/分 (税抜価格3.5円)		普通 132 円 (税抜価格120円)	普通 8.8 円/分 (税抜価格8円)		
			提携充電器	提携充電器のビジター料金は、充電器ごとに異なります。 詳細は充電器に掲示されているご案内をご確認ください。			

BEVユーザーの充電スタイル

- ・日本の乗用車の1日平均走行距離は約32km 1週間で約計210km 1週間に1回程度の家庭充電をしている方が多い
- ・年数回の小旅行に出かける方は、上記急速充電の毎月定額のプランに入らず、都度払い(ビジター料金)の方が多
- ・充電ステーションはショッピングモールやコンビニ、サービスエリア、ガソリンスタンドなど全国に約2万か所以上
- ・長距離の帰省で充電に心配がある方には「Anyca」を用いたガソリン車の使用をアドバイス

コンセント型

車両付属の充電ケーブルを使用



- 3kW 屋外コンセント
- 3kW 屋外コンセント
盗電防止用カバー&鍵付

コンセント本体価格 (税込)

3kW 屋外コンセント	¥7,150
3kW カバー付屋外コンセント	¥13,000
基本工事価格	約¥100,000

ウォールボックス型

充電器に接続されているケーブルを使用



ウォールボックス型からの充電は、
コンセント型を使用した充電よりも
高い充電電力を得ることができるので、
充電時間が短縮される。
(3kWタイプに比べて充電時間が約半分)

充電器本体価格 (税込)

6kW 普通充電器 (デマンドコントローラーなし)	¥187,000
6kW 普通充電器 (デマンドコントローラー付)	¥220,000
基本工事価格	約¥150,000

500e 充電ポート



■ 普通充電ケーブル 標準装備



- ・ラゲッジフロア下に格納
- ・ケーブルの長さ 5.4m

■ 急速充電 CHAdeMOアダプター 標準装備

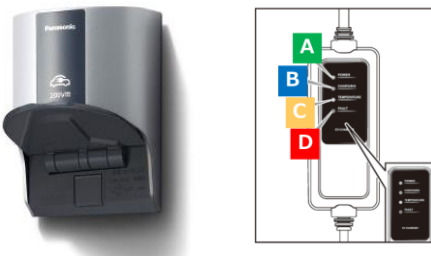


- ・ラゲッジ内に装備（専用ケース無し）
- ・約4.5kg / 約800mm
ご参考）
テスラCHAdeMOアダプター約2.1kg
FIAT500eとの重さの差は約2.4kg
（ダイソンのコードレス掃除機 一機分の重さと同等です）
- ・テスラ CHAdeMOアダプター 約2.1kg / 約700mm





① ラゲッジルームから充電ケーブルを取り出す



② 充電ケーブルを伸ばし、家庭用充電コンセントに接続する
充電コントロールユニットが起動し4個のLED が約1秒間点灯する

- 警告- 必ず家庭用電源に先に接続し、その後にクルマの充電ポートに接続する。



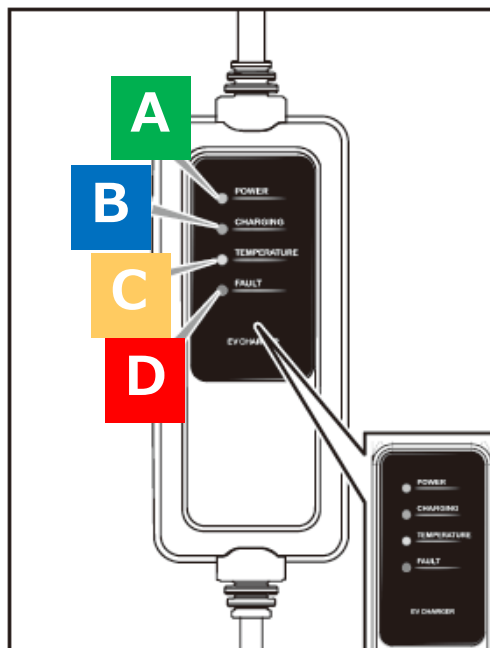
③ 充電ポートのフラップを開き保護カバーを取り外す



④ 充電コネクター **A** のグリップを持ち保護カバーを取り外す



⑤ クリック音が鳴ってロックされるまで充電コネクターを充電ポートに差し込む
スケジュール充電が設定されていない場合は自動的に充電がスタート



■ 充電コントロールユニットの充電状態の表示

A	: 緑色	電源オン
B	: 青色	充電中
C	: 黄色	過熱
D	: 赤色	不具合

■ 充電ポートの充電状態の表示

青色 : スケジュール充電の待機中

緑色点滅 : 充電中

緑色点灯 : 充電完了

全LED 緑色点灯 : 充電完了

赤色点滅 : 充電システムまたは充電作動に不具合



注意-

- ✓ ボンネットのロックを解除すると充電が中断、確実に閉じると充電が再開。
- ✓ 充電中はバッテリーの冷却機器が作動するので音が発生するのは正常な現象



A CHAdeMOケーブルに接続

B クルマ（充電ポート）に接続

CHAdeMOでの急速充電 手順

- ① CHAdeMO用アダプターを取り出す
- ② 充電ポートのフラップを開き保護カバーを取り外す
- ③ CHAdeMOの充電ケーブルにアダプターの **A** を接続する。
→ アダプターのLEDが緑色に点灯
- ④ 次にクルマの充電ポートに **B** を差し込む。
→ 充電ポートの5個のLEDが一瞬緑色に点灯
→ 2個のLEDが赤色に点滅してCHAdeMOと通信開始
※ CHAdeMOの作動を検知するまで40秒程度かかる
- ⑤ 充電が開始される。
→ 充電ポートのLEDが緑色で点灯し **B** がロックされる。



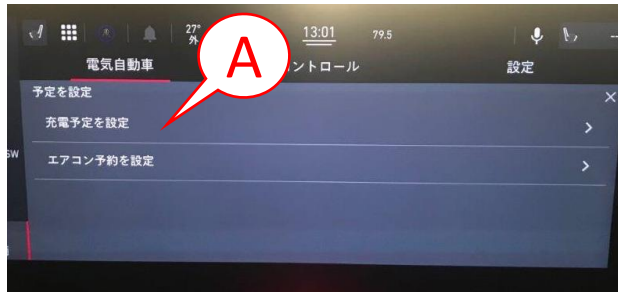
充電中：バッテリーの充電レベルに応じて
緑色で点灯/点滅

充電完了：全LEDが緑色に点灯

※ クルマから離れる場合は施錠する

※ CHAdeMO側の操作手順や支払い方法はメーカーや施設により異なる

スケジュール充電 設定手順



- ①Uconnectを作動させ車両モードから「電気自動車→予定」を選択するとスケジュール画面が表示される。
- ②設定するスケジュール（【予定#1】～【予定#3】）にタッチする。
スケジュールは、エアコンの作動予約を含めて3 通り設定できる。
- ③【充電予定を設定】Aにタッチする。
- ④ 希望の開始時間・停止時間・開始日を設定する。
✓満充電まで充電を継続する場合は【満充電しますか?】にタッチしてチェックマークを表示。※この場合は終了時間は選択できない。
- ⑤ディスプレイ右上の【×】にタッチする。
- ⑥確認メッセージ表示➡【はい】にタッチ➡スケジュールが保存される。
✓保存されたスケジュールを有効にするには画面右側のチェックボックスにタッチしてチェックマークを表示させる。

■ 充電器に合わせた充電の手順により、充電ケーブルを接続。
予約時間に充電が開始される。

1	急速充電の充電時間について 急速充電器（日本規格CHAdeMo）は主流の50kWの他、20kW,90kW,150kWなどがあり、高速道路SAなどでは大出力急速充電器の設置を進めている。 ※FIAT 500eはCHAdeMO急速充電 50kWに対応上限の30分で約60%程度まで充電可能
2	急速充電での100%充電について （現在の規定は最大30分間まで） 85%を超えるとバッテリー保護のため、充電スピードを下げる仕様になっています。85%以上の充電は極力普通充電にて行って下さい。 ※急速充電自体がバッテリーへの負担増となるため、繰り返しの充電は劣化をより加速させます。最適な充電環境は、ゆっくり充電できるホームチャージング（3kW / 6kW普通充電）
3	50km走行分の普通充電時間の目安 3kW: 約3h / 6kW: 約1.5h 計算値 ※気候、車両の条件に関係し、一律ではありません。
4	メーター内の走行可能距離について カタログ値 335km（WLTC）に対し、過去の走行状況を元に計算された見込み値となります。満タンの状態で250~270km程度を表記します。
5	実際の走行可能距離について 満充電時での実際の走行可能距離は、250~260km(直前にエアコンを使用していない場合)ぐらいです。メーカーとして保証する数値ではありませんので、ご注意ください。 ドライビングや走行環境、気候などに左右されます。（特にヒーターは大きく電力を消費します）SHERPAモードや回生ブレーキが多く出来る交通環境では走行距離が伸びる場合もあります。 アクセル操作などの運転スタイルでも大きく変わります。高速道路では80km/h以上で走行するとバッテリーの消費量は比例して多くなる傾向にあります。
6	各モードによる走行可能距離の違いについて eモードセクターでモードを切り替える事で、航続可能距離が変化します。NORMAL < RANGE < SHERPA（-7%~+9%）※テスト走行時データ 《参考情報》 160km走行時 走行前 残充電97% → 走行後 24% (73%減) (4/22 宮前平~日本平 曇り~雨 高速80~90km/hペース)
7	低充電状態の場合 航続可能距離が少なくなると、 ①残24~16kmでメーター内のバッテリーのインジケーターが点滅、電装機能エアコン、シートヒーター類がOFFになります。（手動で再作動可） ②16~8kmになるとバッテリーマークは点灯状態に。 ③8~0kmでは点灯のままで速度が70km/h以下に制限（アクセル全開操作で解除）されます。 ④残距離がほぼ0kmになると更に🚗のマークが点灯し、電欠までの電力消費を最小限に抑えます。
8	充電時の状態 アクセサリーON、エアコン、オーディオなどの使用は可能です。ドアの開閉も影響はありません。

9	充電ケーブルについて（標準スペック：3kW 200V 15A 7.5m） 標準搭載の物を使用して下さい。また、100Vのコンセントで充電しないで下さい。 他社の物は充電できたとしても保証できません。
10	航続距離を伸ばすための走りのコツ ・連続した高速走行や、急な加速の繰り返しを避ける。 ・スピードは控えめで、法定速度で走行する。 ・冬季はプリコンディショニングやシートヒーターを使用して暖房の電力消費を抑える。 ・RANGEモード、SHERPAモードを駆使して運転する。 ・交通の流れや信号などの先読みをし、効率良く運転する。 ・心穏やかに運転する。
11	自動車諸税の減免 エコカー減税・グリーン化特例による自動車税・環境性能割・自動車重量税の免税があります。また、自治体などの補助金や追加の自動車税の減免もあります。
12	CEV補助金申請、地方自治体補助金申請について 基本的には補助金申請は全てリース会社がおこないます。地方自治体の補助金であってもリース会社が申請者であるものは申請可能です。 ただし、様々な自治体で細かい条件が設定されている場合がございます。その確認義務はお客様や販売店様が負うこととなります。 補助金等に関しては、販売店様で各地域の内容と金額をご確認頂きまして、補助金の適用内容、全国一律の補助金+地域の補助金をお客様にご説明いたします。
13	CEV補助金の適用を受けて購入した場合は売却時に補助金を返金しないといけませんか？ 登録から4年以内に車両を売却する場合は、事前に財産処分申請を行い、査定額に応じた補助金の返金が必要となります 詳しくは一般社団法人次世代自動車振興センターホームページをご覧ください。
14	エンジン やトランスミッションが無いので定期的なメンテナンスはしなくても大丈夫ですか？ モーター、サスペンション、冷却装置など定期的なメンテナンスや点検が必要です。FIATディーラーに定められた定期点検を受けてください。
15	長期間 車両を使用しない場合 長期間使用しない場合でも駆動用バッテリーから補器類用12Vバッテリーへ電力供給が行われます。駆動用バッテリーは大きく減ることはありません。

16	どれくらいの充電スポットがあるのか？ 全国約1万8千以上の充電スポットがあり、ガソリンスタンド数の約6割に匹敵します。 また、高速道路ではガソリンスタンド数を上回る配備がされています。EVを販売しているディーラーはもちろん、コンビニやスーパーを始め、駐車場、公共施設（役所など）にも設置されています。※充電スポットについては、たくさんの検索サイトがあります。
17	e-Mobility Powerカード（旧NCSカード）の公共充電設備への対応 ・充電設備に個体差（設備モデル年式）があり、e-Mobility Powerカード非所有者が利用出来ないこともあり得る。 ・e-Mobility Powerカード利用希望の場合は、納車前までに発行済になっていることが望ましい。→申し込みから発行：約1か月
18	休日等の公共充電設備混雑状況について 特に休日の高速道路のSA/PAやショッピングセンター等に設置されている公共充電設備は、利用順番待ちになっている可能性があり、バッテリー残量に注意が必要です。 充電設備によっては、ネット上で現在の使用状況を事前に把握出来る場合もあります。
19	航続可能距離への影響 経年変化によるバッテリー容量減で、満充電時でも航続可能距離（表示値）は新車時より減る可能性があります。季節によってかなり差があり、特に冬場は満充電にならないことが多い傾向にあります。暖房使用時はバッテリー消費が早くなります。暖房を使用する際、熱を発生するエンジンがない為、バッテリーの電気を利用してヒーターを使うため消費電力が増加します。（エアコンを使用しない時の走行距離と比較して、使い方にもよりますが、航続距離が約20%低下致しました。） 高速道路、自動車専用道路等の高速度域使用ではバッテリー消費が早くなります。（高速度や勾配上りはモーター負担大）
20	高気温時（主に夏場）の長距離移動時の充電 バッテリー温度が高くなると充電量を制御するセーフモードが機能するため、高気温時には1日に複数回の充電が出来ない場合がある。高気温時の長距離移動の際は注意が必要です。 ※水冷にてバッテリーを冷却するシステムを備えてはいるが、高気温時は適温まで下がりづらくなります。
21	満充電を繰り返すことについて バッテリーへの負担増となり、劣化を加速させます。80%～90%を最大値として小まめな充電を繰り返す事が、バッテリー負担軽減につながります。旅行などの長距離が見込まれる時だけ満充電を行う等の配慮が望ましい。 ※500e バッテリー保証：8年 16万km
22	電欠（充電量ゼロ）について 電欠状態から復帰させることはバッテリーへの負担増になり、劣化を加速させます。 ※電欠時、JAF加入の場合は最寄りのEVステーションまで搬送（15kmまで無料）/ JAF未入会者は13,130円（+730円/km）より対応可能

23	充電エラーの可能性 急速充電器は様々なメーカー製があります。十分なテストを行い、適応を確認しておりますが、充電時に通信の不具合などで充電エラーが発生した場合はディーラーにお問合せ下さい。 また、普通充電に関してはPanasonic製の6kWを最大速度（車両側で設定可能）で充電した場合にエラーが起きる可能性があります。
24	ガソリン車と同様に防錆処理をしても問題ないのか？ 問題ありません。施工時に電気系統に塗料を塗らないように注意する必要があります。
25	今後 よりコンパクトな急速充電CHAdeMOアダプターは開発されますか？ 現在計画はございません。
26	自宅の屋根なし駐車場で充電する場合、感電、漏電等の心配はありますか？ 雨や雪などの悪天候の中でも充電できますが、感電や漏電などを防止するために次のことに注意してください。 ・大雨などで車両やコンセント周辺が浸水するおそれがあるときは、充電を行わないでください。 ・ぬれた手でプラグを接続しないでください。 ・プラグやコンセントがぬれているときは、乾いた布などで水分を拭き取ってから接続してください。

① 発進 ～ 低速域	② 中速域	③ 高速域	④ 右左折	⑤ カーブ
『お客様に伝えたいこと』	『お客様に伝えたいこと』	『お客様に伝えたいこと』	『お客様に伝えたいこと』	『お客様に伝えたいこと』
アクセルを軽く踏んだ瞬間に走りだすレスポンスの良さ、走りやすさ	力強さが持続できるパワー感がある	優れた直進安定性	切った分だけ素直に曲がる軽快なハンドリング	高い安定感のあるコーナリング
高い静粛性と振動がほとんど無い快適性	シフトショックの無いスムーズな加速力	ステアリングの操作感が良く安心感のある走りやすさ	ステアリングの応答レスポンスが良い	自然なフィーリングの安心感
車両の停車時にはブレーキがホールドされ快適に走れる	ワンクリックで制限速度へ調整できる便利さ	高い静粛性	取り回しがしやすいボディサイズ	ドライバーの意図通り走れるキビキビ感
裏付けとなる機能/装備	裏付けとなる機能/装備	裏付けとなる機能/装備	裏付けとなる機能/装備	裏付けとなる機能/装備
✓ モーターは低回転でも大きなトルクを瞬間的に発生 ✓ モーターはエンジンと違いスイッチオンでトルクを発生 ✓ モーターは音が小さく振動がが少ない ✓ BEV車の中で車重が軽い ■ 車重1,330kg/1,360kg ■ 最大トルク220Nm/2,000rpm ✓ 車両が停車するとホールド機能が働く ✓ シート面のデザインはオシャレな感覚だけでなく、身体をホールドするグリップ感がある ✓ 後席は座面が高くなり、外が見やすく快適	✓ トランスミッションが無く、コンピューター制御のためアクセルを踏んだ分パワーが続く ✓ トランスミッションが無いためシフトショックが無い ✓ トラフィックサインレコグニション（TSR）速度標識を認識し速度超過時にドライバーに注意を促す ✓ 回生ブレーキによる充電を行いながら速度コントロールができる（ワンペダル操作により停止まで行うモードがある） ✓ モードセレクターにより自分に合った運転モードが選べる	✓ FFレイアウトによる直進安定性 ✓ ステアリングのセンターがハッキリしているから直進性が高い ✓ レーンデパーチャーワーニング（LDW）により車線のセンターをキープしやすい ✓ モーターは高回転になっても静かである ✓ モーターの特性として高回転になるとパワーが上がる ■ 最大出力118ps/4,000rpm ✓ 車両下回りのバッテリー形状はアンダーパネルと同様の整流効果をもたらし、高い安定感がある	✓ ボディ剛性が高くよれが少ないためレスポンスが良い ✓ フロントが軽いため回頭性が高い ✓ 低重心のためロールが少なく良く曲がり、自然な感覚で曲がるチューニングが施されている ✓ ボディの4隅にタイヤがあるショートオーバーハングボディ（運転しやすい曲がりやすい） ■ ショートホイールベース 2,320mm ■ トレッドF/R 1,470mm/1,460mm ✓ フロントはスタビライザーの効果でロールを抑える	✓ 高いボディ剛性によりサスペンション機能が高くなる ✓ 低重心のためロールが少なく良く曲がり、自然な感覚で曲がるチューニングが施されている ✓ ボディの4隅にタイヤがあるショートオーバーハングボディ（運転しやすい曲がりやすい） ■ ショートホイールベース 2,320mm ■ トレッドF/R 1,470mm/1,460mm ✓ フロントはスタビライザーの効果でロールを抑える
⑥ 車線変更	⑦ 緩いアップダウン	⑧ 狭い道	⑨ 荒れた路面	⑩ 駐車
『お客様に伝えたいこと』	『お客様に伝えたいこと』	『お客様に伝えたいこと』	『お客様に伝えたいこと』	『お客様に伝えたいこと』
ステアリングを切った分だけに素直に曲がる高いコントロール性	アクセルを軽く踏むだけで坂道をグングン登るトルク感	取り回しのしやすいボディサイズ	荒れた路面でもしなやかに走れる乗り心地の良さ	取り回ししやすいボディサイズ
ステアリングの応答レスポンスが良い	下り坂でもアクセルだけでできるスピード調整のしやすさ	小回りが利くので狭い道でも曲がりやすい	凸凹道でも安定感のある走り	見切りが良いので車両の周囲を確認しやすい
どの速度域からでも加速できる安全性と気持ち良さ	ショッピングモールなどのスロープで不安なく発進できる	見切りが良いので周囲が見やすい		車両の回りが可視化できるので安心
裏付けとなる機能/装備	裏付けとなる機能/装備	裏付けとなる機能/装備	裏付けとなる機能/装備	裏付けとなる機能/装備
✓ ステアリングのセンターがハッキリしているから切る量が分かりやすい ✓ ボディ剛性が高くよれが少ないためレスポンスが良い ✓ モーターは瞬間的にトルクが出せるため加速が良い	✓ モーターの特性により大きなトルクで坂道も登りやすい ✓ アクセル操作だけで下り坂でも回生ブレーキによる充電を行いながら速度コントロールができる（ワンペダル操作により停止まで行うモードがある） ✓ 坂道発進などもホールド機能により下がる事なく安心して発進可能	✓ コンパクトなボディサイズ ■ 全長3,630mm、全幅1,685mm ✓ 最小回転半径が小さく（ショートオーバーハングボディ） ■ 最小回転半径5.1m ✓ 大きく見やすいフロントウインドウ ✓ 高めの着座位置（視界の良さ） ■ 全高1,530mm ✓ アクセル操作だけで回生ブレーキによる充電を行いながら速度コントロールができる（ワンペダル操作により停止まで行うモードがある）	✓ 高いボディ剛性（サスペンションがしっかりと動いて衝撃を吸収） ✓ FFレイアウト（フロントに常に荷重がかかるため、凹凸を越えた後もステアリングフィールがしっかりしている） ✓ ステアリングのセンターがハッキリしているから荒れた路面でも運転しやすい	✓ コンパクトなボディサイズ ■ 全長3,630mm、全幅1,685mm ✓ 最小回転半径が小さく（ショートオーバーハングボディ） ■ 最小回転半径5.1m ✓ 高い着座位置（周囲が見やすい） ■ 全高1,530mm ✓ 360度パーキングセンサーにより障害物との距離が確認できる ✓ リアパーキングカメラ（ステアリング連動ガイドライン付き）により運転をアシストします

アクティブ セーフティ システム		
ABS	アンチロック ブレーキ システム	低ミュー路面等でブレーキ時にタイヤロックするのを防ぐ。500eは振動がペダルに伝わりにくい緻密な制御を行う。
EBD	エレクトロニック ブレーキフォース ディストリビューター	ABSに付随し、4輪のグリップ状況を判断し、個別に制御を行う。コーナリング時の安定性を高める制御も行う。
DTC	ドラッグ トルク コントロール	滑りやすい路面などで急激にアクセルオフなどした際に駆動輪がグリップを失うのを防ぐ為にモーターのトルク制御を行う。
ESC	電子制御スタビリティ コントロール	滑りやすい路面で車の挙動が乱れた際に4輪のブレーキを個別制御、スロットルの制御を行い車両を安定させる。
TC	トラクション コントロール	急激なアクセル操作や滑りやすい路面で発進する際に、駆動輪のスリップを防ぎ、トラクションを確保する。
BLD	ブレーキ リミテッド ディファレンシャル	コーナリング時に内側のタイヤがスリップしそうな時の駆動抜けをブレーキ制御によって防ぎ、両輪にトラクションを掛ける。
PBA	パニック ブレーキ アシスト	万が一の際など、瞬時にアクセルからブレーキペダルを踏む動作を感知し、強いブレーキに変えるアシストをする。
HAS	ヒル スタート アシスト	5%以上の勾配の登り（バックの際は下り）の発進時にブレーキペダルから足を離しても最大2秒、保持してくれる。
ERM	エレクトリック ロール ミティゲーション	障害物を避けるなどの急ハンドル操作で横転の危険性を感知し、ブレーキやモーターの制御で車体を安定させようとする。
運転支援システム		
FCW	フォワード コリジョン ワーニング	車両や歩行者に衝突の可能性をセンサーで感知し、ドライバーに警告。回避操作が無い、遅い場合はブレーキが介入する。
BPM	ブラインド スポット モニター	隣車線後方の接近車両に対し、ミラー内のインジケータ点灯で知らせる。ウinker操作した場合、警告音と点滅で知らせる。
LKA	レーン キーピング アシスト	カメラで認識した車線をはみ出しそうになるとステアリングアシストで車両を戻す。ACCとセットで車線中央維持をアシスト。
DAA	ドライバー アテンション アラート	長時間の運転時、運転操作のパラメータにより、運転手の疲れを検知し休憩を促す警告が表示される。
TPMS	タイヤ プレッシャー モニタリング システム	タイヤの空気圧をモニターに表示、空気圧管理やパンクなどのアクシデントを未然に防ぐ。
ACC	アダプティブ クルーズ コントロール	レーダーとカメラにより、定速走行時に設定速度以下の前走車がいる場合に車間距離を保ち、停車までアシストする。
TJA	トラフィック ジャム アシスト	ACCとLKAが統合され、車線の中央維持のアシストとなる。ステアリング操作は必要だが、車線内走行のアシストが強い。
SDW	サイド ディスタンス ウォーニング システム	駐車速度域(0~13km/h)で車両速報の障害物を検知し、警報音でドライバーに警告。
TSR	トラフィック サイン レコグニション	フロントとガラス上部のカメラで速度標識を認識し、メーターに表示。走行速度が表示を超えると点滅して注意を促す。
ISC	インテリジェント スピード コントロール	スピードリミッターの設定速度をTSRで表示された速度に合わせてくれる機能。RESボタンで設定。
HOLD 'N' GO	ホールド アンド ゴー	RANGE と SHERPAモードの際、停車時にブレーキホールドが掛かる。再発進はアクセルオンで自動解除

■パーキング・ロックの解除方法 → 詳細 次頁参照

解除手順としては用意されているが、ユーザーが実施することは想定されていない。

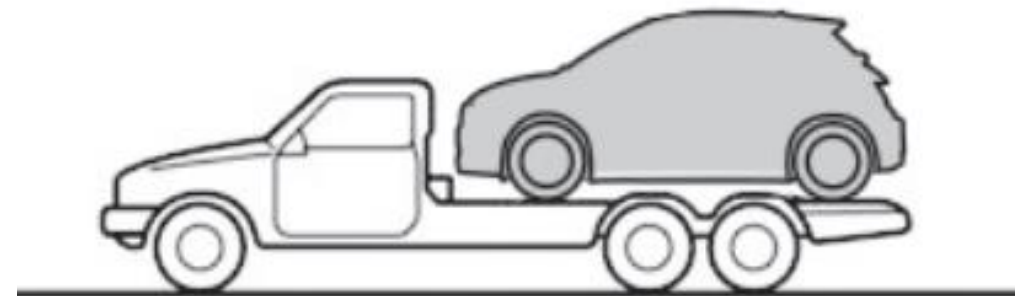
使用する工具（6mm の六角レンチ）は車載工具に入っておらず、

解除ケーブルの位置が高電圧回路のすぐ横にあることからそれが判断できる。

■パーキング・ブレーキの解除方法

特別な解除手順はなし。

バッテリー（高電圧、12V）上がり場合はバッテリーの充電、バッテリーやパーキング・ブレーキ関連の故障であればその部位の交換が必要。



※車両は牽引できません / 車両運搬車に積載して運搬してください

高電圧部品 EDM (エレクトリックドライブ・モジュール)

PLSの手動ロック解除機能は、車両の技術的サービス作業に限り利用できるよう提供されています。ロック解除は、パワートレイン・コンパートメントの内側から作業可能です。この機能は、リリース機構自体はEDMのケーシングに配置されていますが、アクチュエーション・ケーブル(1)を介して、PEB後部からより簡単に作業できるようになっています。PLSを手動で解除するには、6mmの六角レンチを使用してアクチュエーションケーブル(1)を完全に押し下げ、同時に時計回りに10~12回転させます。PLSの作動を復元するには、これと反対方向に作業を行った後、ドライブ・スクリュがシャフトに接続されていないことを確認します。詳細については、ワークショップ・マニュアルをご覧ください。

